

# 1. 臓器提供 (オプトイン・オプトアウト)

私は臓器提供カードではありませんが、保健証の裏面にある選択票には  
れをしています。自分が臓器提供に同意したら想像するのは難しいですが、逆に、  
自分が事故や病気で臓器が必要になったら考えると、自然に提供の意思を示すことができた。  
といったことを言っていたことを思い出しました。

私も運転免許と持っているのが臓器提供を一つ欄があるが空欄  
になっていて、私もこの選択がとても難しいと感じたから。

不参加選択方式に関しては、よく分かります。今選択した  
事が後になって悪い方向に進んでしまったり、と思うと  
そのままにしています。

今の日本人学生は当選された方もわかるからいいから、  
と感じるからなのか私はわかるから、いざその逃げを  
判断力が低くなるのはととても危惧しています。

仲間内でこのようなことをするのは、良いかもしれ  
ませんが、それでも信頼を失うことになりかねません。  
注意しましょう。そして、政治家がこの手法を使うと  
ときには特に注意しましょう。最近では、文科大臣が「サ  
イレントマジョリティーは賛成です。」とTwitterに書いて、物議をかもしました。

今回の授業では、選択の傾向について、不参加を募集しつづければならない時、オプト  
不参加選択方式を使うと多く人参加してはいるのではないかと、

臓器提供プログラムについて、判断しない選択をさせる  
やり方はすごいと思った。

オプトインオプトアウト法式などによって高められた数字は本意の人の選択と異なるのか  
怪しいと思うのでその方法で高められた数字は意味をなすのかわからないと思いました。

素晴らしいコメントです。この制  
度が日本に導入されたとき、哲学  
者梅原猛は、「脳死は人の死では  
ないが、人に臓器を提供しようと  
いう愛の行為は止められない。」  
そう、保険証の裏にもあるので  
すよね。保険証には私はチェック  
して…でも、空欄にするの  
は自然な反応といえると思います。  
人間の一般的な傾向なので、  
しょうがない、という部分は  
ありますが、こと、選挙につ  
いてはそうはいきません！！  
判断しないことは、他の人を  
傷つけることになるからです。

# 2. 選択

洋服の経験から、自分の洋服の種類や色が「これだ、これが」  
楽に選べるが、実際買うとなると、種類が多すぎて迷って買わずに、結局  
何も買わずに帰ることが多い。それ疑問だから、今度から大型のお店よりも  
セレクトショップにしようと思った。

やるべきことが抽象的だと、やる気が湧かないので、最近課題や小論文を書く時に  
手順を決めて、選択肢を見えるようにしてから、取り組むようにしている。

例えば今、文系か理系かどちらに進むか問われる

すぐに答えられますが、どの学部にするかと問われたら答えられない、難しい選択  
は後回しにしています。自分の考えや意見をまだ元々から格案をきくとより  
面白いと思いました。

選択が身近な証拠ですね。選択については、  
ぜひ、自分のこととを考えてください！また、  
これも初回にやった勉強法と関連していて、  
自分の考え、感想を交えたノートを作ると、  
記憶に定着しやすいのでお勧めです。

人生における選択の重要性がよくわかったが、選択をするのは同時に自己への  
責任を伴うので、失敗リスクも高いのではと思った。

だから選択に躊躇する、  
というのはその通りだと思います。しかし、選択しな  
いわけにはいきません。例  
えば選挙です。

一貫した教え方は社会で一般的だと思われる選択が強調される。

私たちが、果たしてどれだけ本当の意味で  
自由に選択しているのか、疑問ですね。

# 授業日程について

- 12月23日(月) 第13講(試験前の最後, 1回休みがあったので実際は12回目)
- 1月20日(月) 期末試験
- 1月27日(月) 第14講(テスト返却とまとめ)

